

2016年9月理事会議事録

日 時：2016年9月24日（土）14：00～17：20

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・大島直行・岡内三眞・小笠原永隆・岡山真知子・小澤正人
・瓦吹 堅・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和大・杉井
健・関根達人・都築恵美子・新納 泉・橋本裕行・宮本一夫・長瀬 衛、監事：
唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：石川日出志・菊池誠一・堀内秀樹・矢島國雄

進 行：宮本一夫

議 長：谷川章雄

宮本理事から、本日の出席者は22名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

宮本理事から、京都府の宮本繁雄会員が2015年4月に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第362号 「平成28年熊本地震に伴う埋蔵文化財保護ならびに文化財の復興に関わる声明」について

宮本理事から、平成28年熊本地震対策特別委員会では、復興に伴う埋蔵文化財調査や文化財の修復等の支援・協力を求めるため、2016年度大会時に声明を発出することを計画しているとの説明があり、原案が提示された。審議の結果、案文については修正した上で、会長声明として表明することを承認した。

また、報道機関等への周知方法について協議し、大会までに関係する理事を中心に準備を行う。

議案第363号 協会図書について

近藤副会長から、各行政機関から寄贈いただいている発掘調査報告書や研究紀要、年報等の送付先について、協会事務局宛から奈良大学図書館の日本考古学協会寄贈図書担当宛に変更いただくことを検討しているとの説明があった。続けて長瀬常務理事から、周知にあたっては、全国埋蔵文化財法人連絡協議会への文書の送付を準備中であり、案文が提示された。審議の結果、案文については一部修正の上、文書の提出を承認した。

議案第364号 次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめに対するパブリックコメントの提出について

佐々木和博理事から、社会科・歴史教科書等検討委員会では、中央教育審議会における次期学習指導要領の作成に向けたこれまでの審議に係る意見募集について提出を検討し、3点の原案が提示された。審議の結果、一部修正の上、パブリックコメントの提出を承認

した。

議案第365号 アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルについて

佐藤理事から、アイヌ人骨・副葬品に係る調査研究の在り方に関するラウンドテーブルのこれまでの経過と今後の予定について説明があり、以下の3点について審議の上、承認した。①8月6日(土)に日本人類学会・北海道アイヌ協会と共催でシンポジウムを開催し、150名程度の参加を得た。来年度以降も同様の共催事業を開催予定であり、来年度は日本考古学協会が担当する。②概説書の刊行を計画しており、当会の担当者は関根理事とする。また、平易な内容が望ましいとの観点から、社会科・歴史教科書等検討委員会に協力が求められた。③将来的な研究倫理検討委員会の設置について、その準備会を設置する。当会の担当者は、現在ラウンドテーブルに参加している佐藤理事・関根理事・加藤博文会員とする。

議案第366号 協会創設70周年事業について

佐藤理事から、2018年度は協会設立70周年にあたることから記念事業の実施が提案された。審議の結果、70周年記念事業の実施、並びに70周年記念事業に対応する小委員会を設置することを承認した。

議案第367号 決算監査と理事会及び総会日程について

長瀬常務理事から、5月理事会報告第478号で監事から指摘のあった「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(第129条)」における決算監査と理事会及び総会の期間の定めにより、4月理事会や総会の開催日程を見直す必要があるとの説明があった。審議の結果、段階的に見直しを検討していくこととし、来年については、4月理事会を開催せず、決算監査後の総会2週間前の5月13日(土)に理事会を開催することで承認した。

議案第368号 退会の承認について

久保田理事から、北海道の*会員、宮城県の*会員、埼玉県の*会員、千葉県の*会員、新潟県の*会員、富山県の*会員、愛知県の*会員、三重県の*会員、滋賀県の*会員、大阪府の*会員、兵庫県の*会員、奈良県の*会員、福岡県の*会員から2016年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

報告第505号 2016年度大会について

関根理事から、「大会実施要項」に基づき、日程と各理事の役割分担について確認があり、了承した。

報告第506号 正会員入会資格審査について

瓦吹理事から、2017年度新入会員の入会資格審査委員16名の報告があり、了承した。

報告第507号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

杉井理事から、熊本県の文化財を巡る状況について説明があった。続けて宮本理事から、9月21日時点の会費免除申請者は5年間3名、募金額は375,598円（総会会場における募金額は除く）であることが報告され、了承した。

報告第508号 国際交流委員会報告

橋本理事から、第8回世界考古学会議（以下、WAC-8）の期間中、「日本考古学フェア」の一環として、「日本考古学協会の紹介」「埋蔵文化財保護対策委員会の活動」「トピックとなる遺跡紹介」の主に3つの内容でポスターセッションを実施したとの報告があった。また、協会の紹介用に英文のリーフレットを作成し、参加者に配布したとの報告があり、了承した。

報告第509号 WAC-8について

宮本理事から、①8月28日（日）に、WAC-8のオープニングセッションで日本考古学協会主催の公開講演会「日本考古学100年」を同志社大学において開催し、約1,000名の参加を得て盛況であった。②『Japanese Journal of Archaeology』（以下、JJA）Vol. 4, No. 1がWAC-8に合わせて刊行され、参加者には宣伝用冊子を配布したとの報告があり、了承した。

報告第510号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

小笠原理事から、2016年度9月幹事会議事録の提示があり、①8月8日（月）に文化庁と懇談し、人材育成や遺跡の保護など埋蔵文化財をめぐる諸課題について意見交換を行った。②北九州市城野遺跡について、保存と活用に関する再々要望書を7月20日付で提出した。③鎌倉市円覚寺西側結界遺構について、日本歴史学協会をはじめとする13学協会連名で保存を求める声明を提出した。④2016年度弘前大会時の埋文委情報交換会について協議した。⑤群馬県渋川市下神田遺跡の現地見学を行ったとの報告があり、了承した。

報告第511号 広報委員会報告

大島理事から、9月11日（日）に委員会を開催し、①2016年度弘前大会時に発出する予定の平成28年熊本地震に関する会長声明の広報活動について協議した。②公開講座の広報を充実させるために、企画担当理事との連携を図る。③広報委員会としての役割について協議し、公式サイトに広報委員会のコンテンツを設けること、及び他の事業担当・委員会と連携し情報を発信していくこと等を検討した。続けて小澤理事から、公式サイト整備の進捗状況について補足説明があり、了承した。

報告第512号 研究環境検討委員会報告

篠原理事から、7月30日（土）と8月27日（土）に委員会を開催し、①大学アンケートの集計・分析を行ってきたこれまでのポスターセッションにおけるアンケート等の検討から、大学以外の文化財担当者を対象に会員アンケートを実施する予定であり、アンケート

案を協議した。②2016年度弘前大会のポスターセッションについて検討したとの報告があり、了承した。

報告第513号 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、9月19日（月）に委員会を開催し、①次期学習指導要領改訂に係るパブリックコメントについて、指摘事項の検討を行い原案を作成した。②2016年度弘前大会のポスターセッションについて協議した。③今後の委員会活動について、2017年度第83回総会でセッションを実施することを検討しているとの説明があり、了承した。

報告第514号 陵墓報告

新納理事から、8月7日（日）に、陵墓関係16学協会主催でシンポジウム「『陵墓』公開をめぐる成果と未来」を神戸市勤労会館において開催し、約80名ほどの参加を得たとの報告があり、了承した。

報告第515号 英文機関誌編集委員会報告

佐々木憲一理事から、7月30日（土）に編集委員会を開催し、①JJA Vol. 4, No. 1の刊行について確認を行った。②今年度末に刊行予定のJJA Vol. 4, No. 2の掲載内容について協議した。③WAC-8に続き2017年度第83回総会において「英語論文の書き方」についてのセッションの実施を計画しているとの説明があり、了承した。

その他

（1）各委員会の事業評価と来年度予算について

橋本理事から、来年度の予算成立までの日程について説明があり、各委員会にこれまでの事業評価及び新年度の事業計画の立案に伴う予算案の提出が求められた。

以 上